



うつく 美しい星

おか うえ ひつじ のじゆく
丘の上で羊たちと野宿していると
め まえ てんし あらわ
目の前に、とつぜん天使が現れた。

ぼくはこわくて、^{とも}友だちもふるえていた。

すると、^{てんし}天使は^{うた}歌を^{うた}歌い^{はじ}始めた。

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。

ぼくたちは、^{あか}赤ちゃんが^う生まれたことを^し知らされた。

ははおや ^{とも}と共に、^{うまや}馬屋で^ほ干し草の^{うえ}上にねていました。

^{てんし}天使はぼくたちを、その^ほすばらしい^{おく}場に送ってくれた。

うつく よる ははおや ^{あか}と^{たす}赤ちゃんを訪ねるために。

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。



ほし ほし うつく ほし
星よ、星よ、美しい星よ、

な なき ぼくたちに ふれるために 来た 星よ。

ほし ほし うつく ほし
星よ、星よ、美しい星よ、

てんごく かがや ほし いま こころ なか かがや
天国で輝いていた星が、今はぼくの心の中で輝いている。

ぼくは、おどろきの目で赤ちゃんを見つめる。

かいばおけの赤ちゃんの名は？

だいく ちちおや い
大工の父親ヨセフが言った、

「この子の名前はイエスだ。よく来てくれたね。」

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。

おか うえ ひつじか やす
丘の上のぼくたち羊飼いに安らぎをくれた。





ひつじ
羊が メーと 鳴いたけれど、
ぼくは ちい 小さな イエス様の ねがお み 寝顔を見つめていたかった。
すると、ははおや 母親の マリヤが ぼくを よ 呼んで 言った、
「やさしい ひつじか 羊飼いさん、 こんや 今夜は みんな、 てんし 天使のお告げを き 聞いたわ。
いま おか 丘にもどって ひつじ 羊の ばん 番を。
いま おか 丘にもどって ひつじ 羊の ばん 番を。」

ぼくは、おどりを、はねまわりながら、出て行った、
天使のやさしい歌に合わせ、幸せな気持ちで歌いながら。

ぼくは、救い主にお会いした、
世界中に平和と愛をもたらし、歌で満たしてくださる王に。

今は、丘の上で羊の番をしよう。

今は、丘の上で羊の番をしよう。

星よ、星よ、美しい星よ、
名もなきぼくたちにふれるために来た星よ。

星よ、星よ、美しい星よ、
天国で輝いていた星が、今はぼくの心の中で輝いている。

